

ご担当者様



鷗出版

刊行案内 好評発売中

ご注文は書店様を通じて下記(株)地方・小出版流通センターへお願いします

(株)地方・小出版流通センター

FAX: 03-3235-6182

『棕鳥通信』は鷗外文学の解明にとって、なくてはならない鷗外の「作品」である。

森鷗外の西洋百科事典 『棕鳥通信』研究

最新刊!! A5判上製カバー装・二四四頁／定価(本体四、五〇〇円＋税)

金子幸代(富山大学名誉教授)著／森鷗外は雑誌「スバル」で一九〇九年(明治四二)から一九一三年(大正二)にかけて『棕鳥通信』を計五五回連載し、その内容は多様で幅広い欧米各地の情報を伝えている。情報源となったドイツの新聞「ベルリナー・ターゲブラット」の記事を、梗概・翻訳の名手である鷗外が自分の見解をうまく盛り込み読者に欧米の最新情報を提供した。本書はその『棕鳥通信』に関連する論文と、巻末に「ベルリナー・ターゲブラット」に関する資料を付す。

【本書の内容】 ■はじめに ■『棕鳥通信』における鷗外の引用戦略——「市民的公共圏」を求めてIIははじめに—— 鷗外の引用戦略／二「市民的公共圏」／三「棕鳥通信」における政治問題／四 原文引用の戦略
◆森鷗外の『棕鳥通信』——「さへつり」・沈黙の塔へII—— 文芸誌「スバル」への連載／二「無名氏」とは誰か／三 女性投稿雑誌「女子文壇」への転載／四「さへつり」と『棕鳥通信』／五 革命と大逆事件・「沈黙の塔」 ■二十年後の海外通信員——「舞姫」と『棕鳥通信』II—— 紀行文／二 留学の目的／三「民間学」と海外通信員／四「棕鳥通信」が伝えようとしたもの／五 エリスと海外通信 ■森鷗外とミュンヘン画壇——「独逸日記」から「棕鳥通信」までII—— ミュンヘンでの出会い／二「美術都市」 ■森鷗外とミュンヘン画壇／三 帰国後の原田直次郎と鷗外／四「棕鳥通信」の美術記事と青春の残照 ■森鷗外のドイツ観劇体験——日本近代劇の紀元IIははじめに—— ライプツィヒ時代／二 ドレスデン時代／三 ミュンヘン時代／四 ベルリン時代と帰国後の演劇への関心 ■あとがき ■初出一覧 ■資料 『棕鳥通信』の原典「ベルリナー・ターゲブラット」(一九一一年一〇月—一九二二年二月)

著者による多くの訂正・補充が書き込まれた訂正原本を基にした改訂新版。

決定版 紅葉山文庫と書物奉行

好評発売中!! A5判上製カバー装・二二六頁／定価(本体四、八〇〇円＋税)

森潤三郎 著／長年にわたり数多くの資料や墓碑を渉猟し、江戸時代唯一の官設図書館である紅葉山文庫の沿革と書物奉行の事蹟を日本で初めて本格的にまとめた本。著者の訂正・補充を反映させ、昭和八年初版刊行(昭和書房)以来八十四年ぶりの改訂新版。

【本書の内容】 ■序(杉栄三郎) ■緒言(森潤三郎) ■第一章 文庫の沿革II——本邦に於ける文庫、特に武家文庫の沿革／二 江戸幕府に於ける文庫の起原／三 書物奉行の創置／四 書目の編纂 ■第二章 紅葉山文庫II——文庫重要事項年表／二 明治以後の文庫と書籍／三 紅葉山文庫蔵書の当時及び後世に及ぼせる影響／附録 文庫の図に就て ■第三章 書物奉行II——奉行任命の形式その他／二 奉行任職序列表／三 奉行任職没年表 ■参考書目略解題 ■跋(森潤三郎) ■再刊あとがき(森富)

鷗出版 〒270-0014 千葉県松戸市小金 447-1-102 / 電話: 047-340-2745 / FAX: 047-340-2746 <http://www.kamome-shuppan.co.jp>

注文書		鷗出版 刊	申込部数
地方小出版流通センター 取扱品 貴店・番線印	森鷗外の西洋百科事典 ——『棕鳥通信』研究 金子幸代 著 定価(本体4,500円＋税) ISBN978-4-903251-15-8		冊
	決定版 紅葉山文庫と書物奉行 森潤三郎 著 定価(本体4,800円＋税) ISBN978-4-903251-13-4		冊